

令和7年11月26日

北秋田市議会
議長 堀部 壽 様

第B班班長 永井 昌孝

議会報告会実施報告書

議会報告会を下記のとおり実施したので、北秋田市議会議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により報告する。

記

日 時 令和7年11月16日（日）午前10時～12時

場 所 北秋田市民ふれあいプラザ コムコム 2階 研修室

市民参加者 14名

第B班議員名（班長） 永井 昌孝
（司会） 板垣 淳
（記録） 中嶋 洋子
（報告） 杉渕 一弘
松橋 史尚

添付書類 会議記録

議会報告会 会議記録

〈次第〉

1. 開会あいさつ
2. 議会報告
3. 質疑応答
4. 意見交換会
5. 閉会あいさつ

質疑応答（要約）

質疑（意見・要望・提言等）	議員の答弁
<p>◎道の駅鷹巣整備計画（33,8億円）に関する議論</p> <p>○経済効果・採算性の根拠不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量、集客予測、売り上げ見込みの数値・マーケティング資料が未提示。 ・「交流人口拡大・地域振興」の具体性に欠ける。 <p>○33,8億円という規模への不安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高や生活困窮状況下で大型投資の優先妥当性は疑問。 ・住民合意形成と情報公開の不足。 <p>○立地妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在地でモンベル等の誘致効果が限定的。 ・二ツ井道の駅（年役120万人来訪、購入者約56～60万人）との比較優位が薄い。 ・森吉山等周辺資源との動線・体験連携の弱さ。別立地検討（フィージビリティ再評価）を要望。 <p>○財政責任・償還期間の説明不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方債の償還年数、財政負担見通し、失敗時の責任所在の明確化を求める。 <p>○市民提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再度の全体計画見直し（マーケティング・交通量調査、比較検討、フィージビリティ再評価） ・住民説明会・資料公開の徹底。 ・立地再検討（森吉山拠点型など、体験動線重視）。 	<p>◎議会側からの共有情報（現時点の計画概要）</p> <p>○事業費：33.8億円（モンベル関係の契約報道後、実行委員会で4回協議）</p> <p>○財政内訳（目安）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国交付金：約12.2億円（事業費の約36%） 今後増額交渉見込みあり。 ・地方債：約10億円規模（詳細は交渉・設計進捗に連動） ・一般財源：約5.3億円（地方債への補助見込み含むが未確定） <p>○集客・売り上げ目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者：現行約30万人→新施設で60万人 ・売上：現行約1.8億円→約3.7億円 ・周辺観光（森吉山、阿仁スキー場、伊勢堂岱遺跡など）との相乗で地域全体110万人来訪を目標。 <p>○現状評価・リスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客には年間120万人規模の総来訪が必要との見立て。 ・立地・距離、体験連携の弱さ、誘致効果の不確実性は課題。 <p>○意思決定の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計・地質調査費（1億1,980円）は議決され、現在実行中です。但し基本設計段階であり本体工事の中止・見直しの可能性は全国事例上もあり得る。（過去に13.9億円を市長が取り下げた事例あり）。

質疑応答（要約）

質疑（意見・要望・提言等）	議員の答弁
<p>◎市民病院の体制・経営に関する議論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産科休止は地域定住への悪影響（若年層の流出懸念）。 ・経営改善は病床縮小のみでは不十分で、専門性の高い医師招聘など攻めの施策も必要。 ・前院長退任の経緯や厚生連（JA）との協議内容の情報公開を求める。 ・取り組み・努力内容の透明化（市民への説明強化）。 <p>◎クマ対策について議論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の「クマ対策パッケージ」の迅速適用（ガバメントハンター採用、個体数管理の本格実施）。 ・捕獲頭数・出没データの公開・可視化。 ・臭気対策（大型店舗等の廃棄物臭の風向・匂い分析、消臭装置導入検討）。 ・緊急避難・対応マニュアルの整備と周知（法的整備要否の確認と早期対処）。 ・クマ処理設備（例：北海道福島町の事例）導入の検討（機械導入・委託費の財源は国交付金活用を要望）。 	<p>◎現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科休止に伴う妊産婦支援（移動等補助）実施中。 ・経営赤字が継続、病床稼働率の低さが構造課題。 <p>○病床見直しの協議状況（議会全員協議会での説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在病床：320床 ・稼働していない病床：約143床 ・目標案：177床へ縮小（200床未満にすることで療報酬算定・補助制度の基準変更に伴う改善を期待）。 ・スケジュール：令和8年度以降に詳細審議、令和8年7月に病床許可運用開始を目標。 <p>○議会の姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の維持は最優先課題。 ・今後の情報公開・説明、制度活用による経営改善を注視。 <p>○現状認識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地・生活圏への出没増加・市民の恐怖感 ・経済活動への影響が深刻。 ・令和6年度の捕獲頭数は令和5年度（333頭）を上回る見込み（最終集計は農林課が年内取りまとめ）。 <p>○市の対応と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱わな設置は64基で不足。新規設置は新年度予算や拡充見込み。 ・防衛的対策中心（草刈り、生ごみ管理の徹底、樹木伐採補助の拡充：申請約300件、補正で増額）。 ・自衛隊・ハンターとの連携要請。

質疑応答（要約）

質疑（意見・要望・提言等）	議員の答弁
<p>◎ゴミ問題（集積所運用・減量化）</p> <p>○市民の現場課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集積所が遠い、前日出し禁止が徹底されない（クマ対策と矛盾が発生）。 ・軽トラックで多量搬入、ルール逸脱、町内会運営の負担・摩擦増大）。 ・防災ラジオ・広報の浸透不足（情報未到達層あり）。 <p>○提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接クリーンリサイクルセンター持ち込みの促進（袋記名簡略化、受け入れ柔軟化）。 ・広報1ページ特集でゴミ処理コスト、リサイクル、ルール見直しを市民と協議。 ・落葉期の一時的多量排出への運用特別検討。 ・集積所設置経緯の見直し（市主導での再配置・ルール再設計）。 <p>◎水道料金改定（住民説明・理解促進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現状・将来予測・値上げ必要性」の分かりやすい説明資料の作成・配付。 ・生活密着施策として慎重な合意形成。 ・理解促進の取り組み：水道施設探検ツアー、単独広報特集、出前セミナー、一日モニター制度。 ・近隣自治体との料金比較・サービス品質の見える化。 <p>◎文化財・伝統行事の保存</p> <p>○指摘された対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岐邸（県指定文化財）：建具の外れ、紙・壁の剥がれ、風雨の侵入など傷みが進行）。 	<p>◎議会对応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの法的要検等は所管（農林課）へ確認の上、共有・改善を図る方針。 <p>◎水道料金改定</p> <p>○決定事項・経過措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年6月から料金改定。 ・経過措置3年間：鷹巣地区は430円、その他の地区は395円の軽減措置があります。 <p>◎議会側の対応方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本会議のネット中継・委員会審議・議会だより周知。 ・住民説明不足の指摘事項は市長部局へ伝達・改善要請。

質疑応答（要約）

質疑（意見・要望・提言等）	議員の答弁
<p>・葛黒の「火祭りがまくら」（市指定文化財） ：担い手不足による存続危機（来年2/15 予定）。</p> <p>○要望： ・現地視察の実施（来年度以降）。 ・修繕計画の策定と予算化検討。 ・伝統行事の継続支援（地域横断での人員確保・助けあい）。</p> <p>◎プレミアム商品券（物価高対策） ・長時間待機（1,5～3時間）など購入手続きの不便。 ・購入未実施世帯の分析（来場困難者への救済策検討）。 ・給付型（ばらまき型）との比較検討を含め、費用対効果の評価と次回設計改善。</p> <p>◎高齢者学習・交流機会の再開要望 ○背景： ・かつての「高齢者講座」（見学旅行、詐欺防止、税務・相続講座等）が昨年度中止。 ○要望： ・講座再開（認知症予防・社会参加促進に資するプログラム）。 ・高鷹大学の複数講座参加制限の見直し（掛け持ち参加の許容）。 ・中止理由の説明と代替施策の提示。</p> <p>◎非核平和都市宣言の周知 ・要望：公民館へ宣言文提示（大館市の事例に倣う）。 ・学習会・展示（原爆の絵、写真展、主要ポスター展）との連携強化。 ・平和教育の継続的な発信。 ・情報発信・参加促進。</p>	<p>◎施策の位置づけ ・地域内での消費循環促進（商工業者から前向き評価多い）。</p> <p>○実施状況 ・第1弾残余分の追加販売（予算増ではなく未消化分の活用）。</p> <p>◎議会・市の広報改善 ・議会だより（年4回配布）とネット中継（生・録画）視聴の周知。 ・重要施策（道の駅、病院、クマ対策、水道料金等）の資料公開と、住民説明会の拡充。</p>

質疑応答（要約）

今日の意見の取り扱い

- ・4会場での意見を全議員で共有。
- ・市長部局に伝達すべき事項（水道住民説明、クマ対策マニュアル等）は市長に上げ、対応要請。
- ・議員として検討すべき事項は、各議員が判断・行動。

アクションアイテム（次にとるべき行動）

- ・道の駅計画のマーケティング根拠（交通量、集客・売上予測、財政計画、償還年数）を作成・公開する。
- ・道の駅の立地・代替案のフィージビリティ（実現可能性）再評価を実施する。
- ・市民病院の病床見直し計画の詳細（スケジュール、診療報酬・補助への影響）を市民へ説明する。
- ・産科休止に伴う地域定住施策の強化（医師招へい・周産期支援の追加策検討）。
- ・クマ対策マニュアルの法的要件を確認し、早期整備・周知する。
- ・クマ出没・捕獲データの逐次公開と個体数管理計画の策定（ガバメントハンター採用を含む）。
- ・樹木伐採補助・箱わな増設の来年度予算を拡充する。
- ・ゴミ集積所運用の見直し（持込促進、広報特集、落葉期特例）を検討・実施する。
- ・水道料金設定の住民説明資料・比較情報を作成し、説明会・体験ツアー等を開催する。
- ・長岐邸の現地調査を実施し、修繕計画と予算案を検討する。
- ・葛黒の伝統行事の担い手支援策（人材確保・運営補助）を検討する。
- ・プレミアム商品券の未購入世帯分析を行い、救済策（代替配布・利便性改善）を設計する。
- ・高齢者講座の再開計画を策定し、複数講座参加の柔軟化を検討する。
- ・非核平和都市宣言文の掲示を公民館等に展開し、啓発を強化する。